

ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)情勢月報(平成31年3月分)

令和元年6月

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

(2) エンティティ、特別区

ア. ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

イ. スルプスカ共和国(RS)

ウ. ブルチュコ特別区

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

(2) 二国間関係

(3) 日・BH関係

3. 経済

(1) 経済政策・公共事業

(2) 経済協力

(3) 民間セクター

(注: 以下は、現地紙など公開情報をとりまとめたものです。)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●SDAとの連立交渉開始に向けてDF内部で動き(12日)

DF党執行部は、コムシッチ同党党首(大統領評議会メンバー、クロアチア系)に対して、SDAとBH及びBH連邦での連立交渉を始めることを全会一致で承認。他方で、DFとBHブロック(注: SDP、DF、NSの3党が2018年選挙後に形成した中道左派政党ブロック)を組むSDPは16日の党委員会で、SDA、HDZBH、SNSDの連立交渉には参加しないとする従来の立場を維持した。

●SDA、HDZBH、SNSDの連立交渉に前進(18日)

イゼトベゴビッチSDA党首、チョービッチHDZBH党首、ドディックSNSD党首(BH大統領評議会議長)がサラエボで会談を行い、政権(BH閣僚評議会)の発足に向けた3党間の基本原則で合意に達した。その一方で、同会談では閣僚ポストの配分については合意することができず、継続協議となった。

●イスラム過激派をめぐるクロアチア情報機関のBH国内活動の報道(13日)

オンライン紙「Žurnal」は、クロアチア情報機関が、グラバル＝キタロビッチ・クロアチア大統領の「BHはテロの巣窟である」という主張を証明するため、クロアチア在住のBH国民をリクルートし、BH中部のゼニツァ・ドボイ・カントンに武器及び爆弾を送ることを試みていたと

報じた。メクティッチBH治安相は14日、本件報道が事実であると述べ、BH検察庁が調査を開始した。

●BH憲法裁判所はRSの日に関し再度の違憲判断(29日)

BH憲法裁判所は、1月9日をRSの日と定める同エンティティの「RSの日に関する法律」について、RS民族評議会議員9名により起こされていた違憲申し立てに対して、同法は、BH憲法、及び、あらゆる形態の人種差別の撤廃に関する国際条約の複数条項に違反するとの判断を示した。

(2)エンティティ、特別区

ア. ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

●BH選挙管理委員会がBH連邦議会上院の欠員補充の承認(5日)

BH中央選挙管理委員会(CEC)は、BH連邦議会上院58議席のうち、セルビア系議員団(17議席)の中で欠員のままとになっていた3議席の追加認証を完了。これにより、CECによるBH連邦議会上院58議席すべての認証が完了した。

イ. スルブスカ共和国(RS)

●RS政府による治安関連法の改正に向けた動き(28日)

RS政府は「武器及び弾薬に関する法律」の修正案を決定。今次決定によりRS国民議会に提出される修正案には、民間人の武器取得にあたって裁判所から発効される証明書¹の提出義務を廃止するなど、武器取得に係る行政上の制約の撤廃等が盛り込まれている。RS政府は併せて、治安・秩序法を含む3つの法律の修正案も決定した。

ウ. ブルチュコ特別区

●区議会によるブルチュコ港修繕計画の承認(13日)

13日、ブルチュコ特別区議会は、ブルチュコ港修繕計画に係る予算案を承認。同予算は今後、2.5キロメートルの港湾クレーン・トラックの新設、アスファルトの台地整備、同港からブルチュコ・ノボ駅までの輸送用鉄道の復旧に充てられる。

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●欧州委員会からの追加質問票に対する回答を提出(4日)

ドディックBH大統領評議会議長(セルビア系)がブリュッセルを訪問し、欧州委員会のハーン近隣政策・拡大担当委員に対して、同委員会からの追加質問票に対するBH側の回答を提出した。なお28日、BHを訪問したハーン委員は、欧州委員会が本年5月末までに、BHに対するEU加盟候補国の地位付与に関する意見書をEU全加盟国に対して提示する予定であると述べた。

●国際刑事法廷残余メカニズム(IRMCT)の上訴裁判部がカラジッチ被告に対する確定判決(20日)

国際刑事残余法廷(IRMCT)の上訴裁判部は、カラジッチ被告(元RS大統領)に対して、スレブレニツァにおけるジェノサイド等の罪状に関し第一審の懲役40年を上回る無期懲役の確定判決を下した。

(2) 二国間関係

●BH大統領評議会が核廃棄物処理施設の移転をクロアチア政府に要請(22日)

BH大統領評議会は、クロアチア政府が同国中部でBH北西部のノビ・グラードからおおよそ4キロの地に核廃棄物処理施設を建設するとして2015年の決定に関連し、核廃棄物保存場所にBH国境付近を選ばないよう、クロアチア政府に対して要請する声明を発表。大統領評議会は併せて、同問題に関するBH政府の立場を、EU加盟各国に対しても通知する方針を決定した。

●BH・セルビア首脳会談(19日)

ドディックBH大統領評議会議長がセルビアのベオグラードを訪問し、同国のプチッチ大統領と会談。席上、プチッチ大統領は、セルビアからRSとBH連邦の各自治体に対する総額840万ユーロの資金供与の用意がある旨表明。また、ベオグラードとサラエボを結ぶ高速道路建設に関して、セルビア側のクズミン―スレムスカ・ラチャ間の建設は本年6月末の開始予定であると述べた。

(3)日・BH関係

●坂本大使のRS首脳との会談(4～5日)

坂本秀之駐BH日本大使がRSの中心都市バニャ・ルカ市を訪問し、ツビヤノビッチRS大統領、ビシュコビッチRS首相及びチュブリロビッチRS国民議会議長との間で、日本とBH及びRSとの協力関係強化につき会談を行った。

3. 経済

(1)経済政策・公共事業

●通信ローミング料金の引き下げで最終合意(13日)

BH大統領評議会が、西バルカン地域にお

ける携帯電話通信ローミング料金の引き下げ合意を承認。今後、この決定に基づき、ベオグラードで4月に開催予定の西バルカン・デジタル・サミットでは、ローミング料金引き下げ合意案が西バルカン諸国間で署名される見通し。合意が発効すれば、2021年にかけて順次通信ローミング料金が引き下げられる見通し。

●4Gネットワーク導入へ(11日)

BH閣僚評議会が、通信規制庁からの提言に基づきBHへの4Gネットワークの導入を決定。同サービスの導入により、今後BHの通信サービス及び通信環境は改善の見込み。

(2)経済協力

●トウズラ火力発電所7号炉の建設計画案をBH連邦議会下院が可決(7日)

BH連邦議会下院は、BH連邦政府によるトウズラ火力発電所7号炉の建設計画案を可決。建設の開始には今後、資金貸与を予定している中国輸出入銀行とBH電力公社の間のクレジットラインの合意、及び、BH連邦による中国輸出入銀行への政府補償の2文書が、BH連邦議会上院により可決される必要がある。上院会合は、今後15日以内に開催される見通し。

●BHの精神科医療に欧州評議会開発銀行の支援(15日)

欧州評議会開発銀行(CEB)は、BHの精神科医療水準の向上を目的として、1,100万ユーロの貸与方針を決定。この資金は今後、BH各地の精神病院の建設及び修繕に充てられる。CEBは同支援により、BHの精神科医療水準をEU及び世界保健機関の定める基準まで改善可能と見込んでいる。

●RSの病院建設に中国の支援(14日)

シェラニッチRS保健・社会福祉大臣は、中国国営企業 China Sinopharm International Corporation との間で、ドボイにおける新病院の建設及び機材供与を目的とする総額4,500万ユーロの契約に署名。新病院の対象人口は、RSのドボイ地方、BH連邦のゼニツァ・ドボイ・カントンおよびトゥズラ・カントンの住民約33万人の見通し。

(3)民間セクター

●EUへの競走馬輸出を開始(8日)

BH鳥獣保護局は、BHからEU加盟国に対する2頭の競走馬輸出が完了した旨発表。今回の輸出は、EUが2018年にまとめた、EU非加盟国からEU加盟国への馬の輸出に関するEU法に従い行われた。同法は、特定の健康条件を満たす馬に関して、EU非加盟国からEU加盟国への馬の輸入を認めている。BH鳥獣保護局は、BH・EU間の馬の取引活性化によるBHの競走馬スポーツ発展への期待感を表明した。

●イタリア衣料品メーカーがBH進出(11日)

RS北東部のピエリナで、イタリア衣料品メーカーSevenpul の現地工場が操業を開始。ミチッチ・ピエリナ市長は、Sevenpul の操業に対して同市は必要なあらゆる支援を行う用意があると述べ、同社のBH進出を歓迎した。Sevenpul は、現在15人の従業員数を、本年末を目処に100人規模にまで拡大することを予定している。